

2021ミス日本グランプリ獲得!「日本女性の美の最高位」に!



写真:一般社団法人ミス日本協会

松井 朝海

Asami Matsui

(小122期)

2021年3月22日に開催されたミス日本コンテストにおいて、小学校122期の松井朝海さんが第53代ミス日本グランプリに選ばれました。

ミス日本グランプリでは、内面・外見・行動の3つの美しさから、「日本女性の美の最高位」としてグランプリを選ぶそうです。

さっそく、ミス日本グランプリに選ばれた松井さんに山桜会による独占リモートインタビューに答えていただきました。

ミス日本グランプリの受賞、おめでとうございます。受賞から約2週間がたちましたが、現在のお気持ちを聞かせください。

ありがとうございます! 現在は、ミス日本がお世話になっている方々に、ご報告を兼ねてご挨拶をさせて頂く、表敬訪問をさせて頂いております。ミス日本グランプリとして、名刺を交換させて頂き、お話をさせて頂く度に、53回も続く、伝統あるコンテストのグランプリとしての責任感を感じると共に、この貴重な経験に感謝をしております。

ミス日本に応募しようと思われたきっかけや動機を教えてください。

きっかけは、自分の夢を叶える一歩になる事を探していた時、私が尊敬する

モデルの新井貴子さんがミス日本出身だという事を知ったからです。そこでHPを見ると、単なる美人コンテストではなく、日本最古のコンテストであり、外見・内面・行動の美を見て、社会で活躍する女性を後押しするコンテストだと知り、応募を決めました。

小学校時代のイベントや出来事などで一番強く記憶している思い出を教えてください。

小学校時代のイベントは本当に楽しい思い出ばかりでしたが特に、記憶に残っているのは、臨海合宿での3km遠泳です。あの厳しい訓練を経て得た達成感は、今でも強く印象に残っています。海から出ると、歩くこともままならない程疲れていましたが、あの石の階段に座って、みんなで食べたあのスイカは、本当に美味しかったです。

小学校で学んだことや身に着けたことで、今、役立っていることはありますか?

学級委員長や児童会副会長を通して感じた、皆を率いる立場としての「責任感」と、由緒ある学校の児童という「責任感」です。下校中に会話をしてしまい、運動場を歩いた事もあります。ですが、幼い頃にあの厳しさを経験したからこそ、何かを背負って行動する、今のミス日本としての立ち振る舞いにも影響していると思います。



写真:一般社団法人ミス日本協会

これらの目標、夢を教えてください。

私の夢は、ファッションモデルになる事です。これは、園児の頃からの夢で、小学校1年生の時、担任の先生に、「将来の夢は何?」と聞かれ、「モデルになること!」と答えたのを今でも鮮明に覚えています。それから長い年月が過ぎましたが、幼い頃からの夢を叶えるために、これからもっと頑張ります!

この記事は、小学校時代に松井さんが教わった先生方や事務の方々、同級生などもご覧になります。それらの方々へメッセージをお伝えいただけますか?

まずは、お祝いしてくださった皆様、ありがとうございました! また、この会報を読んで、驚いた方、私も結果に驚きました。ですが、せっかくこの貴重な経験をさせて頂いているので、少しでも応援してもらえる様に、頑張っていきます! また、私で何かお役に立てる事がございましたら、ミス日本事務局にご連絡ください。

最後に、何かと不便が多い今日ですが、この状況が一日でも早く解消される事と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。



写真:一般社団法人ミス日本協会